

東根市外二市一町共立衛生処理組合
地球温暖化対策実行計画

令和4年度状況報告書

令和5年10月

東根市外二市一町共立衛生処理組合

目 次

1. はじめに	1
2. 温室効果ガス排出量	1
3. 活動量	3
4. 取組状況について	5
5. 総 括	9

【資料編】

令和4年度 部門ごとの温室効果ガス排出量	10
令和4年度 部門ごとの活動量	12
部門ごとの削減目標及び目標値	14

1. はじめに

組合では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、温室効果ガスの排出削減を目的として「東根市外二市一町共立衛生処理組合 地球温暖化対策実行計画」（以下「実行計画」という。）を平成 30 年 4 月に策定した。

本実行計画では、平成 28 年度を基準年度とし、平成 30 年度から令和 4 年度までの 5 年間に温室効果ガスを全体で 0.43%以上削減することを目標としており、本実行計画の 5 年目（目標年度）である令和 4 年度の削減実績及び取組状況について報告するものである。

2. 温室効果ガス排出量

（1）組合全体の状況

令和 4 年度の温室効果ガス排出量は 15,399.43t-CO₂となっており、基準年度（平成 28 年度）と比較し 34.8%（8,232.42t-CO₂）の減少となった。また、目標値（令和 4 年度）との比較では 34.6%（8,130.94 t-CO₂）の減少となり削減目標を達成する結果となった。

区分ごとには、エネルギー起源による排出量は 3,194.22t-CO₂となっており、基準年度と比較し 15.3%（575.55t-CO₂）の減少、目標値との比較では 14.4%（538.87 t-CO₂）の減少となった。

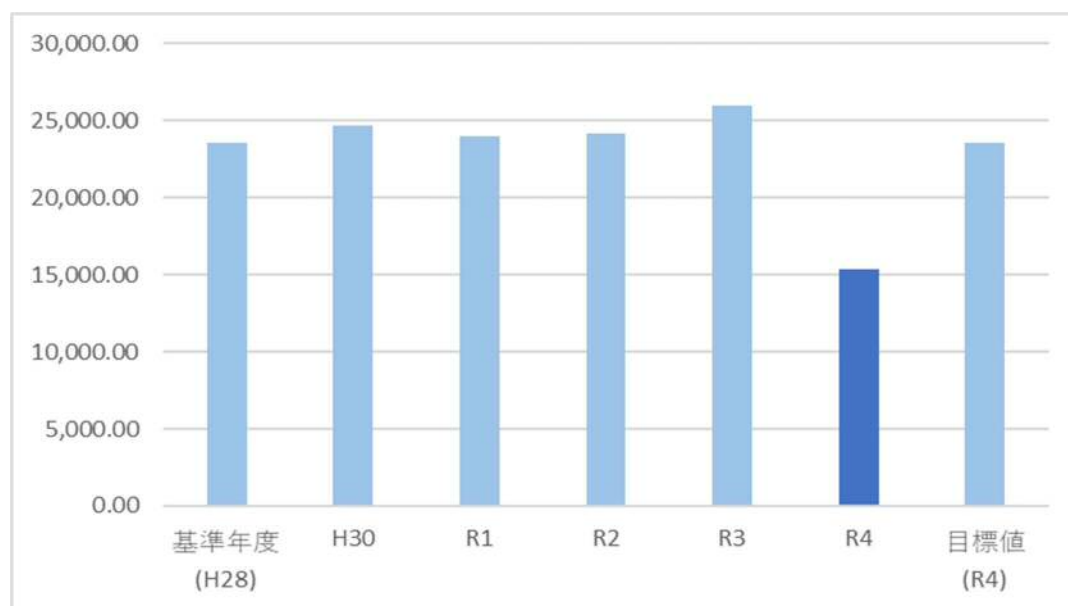
また、非エネルギー起源による排出量は 12,205.21t-CO₂となっており、基準年度と比較し 38.6%（7,656.87t-CO₂）の減少、目標値との比較では 38.3%（7,592.07 t-CO₂）の減少となった。

減少の主な要因については、「一般廃棄物の焼却」によるものであるが、組合事務事業に伴う温室効果ガス（一般廃棄物の焼却を除く）の排出量についても、基準年度から 15.3%（576.56 t-CO₂）の減少、目標値から 14.4%（539.80 t-CO₂）の減少となり、削減目標を達成している。

表 2-1) 組合全体の温室効果ガス排出量（基準年度及び目標値との対比）（単位：t-CO₂）

区 分		基準年度 (平成 28 年度)	令和 4 年度 (実績)	基準年度 対比(%)	目標値 (令和 4 年度)	目標値 対比(%)
エネルギー 起源	ガソリン	6.02	4.17	69.3	5.94	70.2
	灯油	23.60	3.27	13.9	23.35	14.0
	軽油	313.80	314.65	100.3	311.77	100.9
	A重油	126.55	125.47	99.1	125.28	100.2
	LPガス	1.64	1.23	75.0	1.59	77.4
	電気の使用	3,298.16	2,745.43	83.2	3,265.16	84.1
	小 計	3,769.77	3,194.22	84.7	3,733.09	85.6
非エネルギー 起源	家庭用機器における燃料の使用	0.14	0.01	7.1	0.14	7.1
	自動車の走行	3.59	3.29	91.6	3.59	91.9
	一般廃棄物の焼却 (内、廃プラの焼却)	19,855.44 (19,174.44)	12,199.58 (11,510.07)	61.4 (60.0)	19,790.72 (19,111.94)	61.6 (60.2)
	し尿の処理	2.24	1.71	76.3	2.16	79.2
	自動車用エアコンの使用	0.67	0.62	92.5	0.67	92.5
	小 計	19,862.08	12,205.21	61.4	19,797.28	61.7
合 計		23,631.85	15,399.43	65.2	23,530.37	65.4
(一般廃棄物の焼却除く)		(3,776.41)	(3,199.85)	(84.7)	(3,739.65)	85.6

表 2-2) 計画期間における温室効果ガス排出量

(単位：t-CO₂)

基準年度 平成 28 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	目標値 令和 4 年度
23,594.59	24,682.33	23,966.54	24,132.56	25,956.24	15,399.43	23,530.37

(2) 部門ごとの状況

部門ごとの温室効果ガス排出量では、7部門中、ごみ収集部門を除く6部門が目標を達成している。ごみ収集部門については、ごみステーション数の増加に伴う収集作業の増加や新型コロナウイルス感染症予防対策のため各車両で休憩をとるようにしたことによるアイドリング時間の増加などにより軽油使用量が増加したため、基準年度と比較し6.9% (14.01t-CO₂)、目標値との比較では7.5% (15.22t-CO₂)の増加となった。

表 2-3) 部門ごとの温室効果ガス排出量 (基準年度及び目標値との対比)

(単位：t-CO₂)

区 分	基準年度 (平成 28 年度)	令和 4 年度 (実績)	基準年度 対比 (%)	目標値 (令和 4 年度)	目標値 対比 (%)
総務部門	68.84	43.62	63.4	68.14	64.0
し尿収集部門	84.61	71.45	84.4	84.10	85.0
し尿処理部門	453.46	295.66	65.2	448.85	65.9
ごみ収集部門	203.60	217.61	106.9	202.39	107.5
ごみ焼却処理部門	22,446.51	14,440.25	64.3	22,355.85	64.6
粗大ごみ処理部門	213.01	201.76	94.7	210.86	95.7
R C 部門	161.82	129.08	79.8	160.18	80.6
総合計 (一般廃棄物の焼却除く)	23,631.85 (3,776.41)	15,339.43 (3,199.85)	65.2 (84.7)	23,530.37 (3,739.65)	65.2 (85.6)

※RC：リサイクルセンター

3. 活動量

(1) 組合全体の活動量

令和4年度の活動量は、基準年度と比較して増加している区分が3区分、減少している区分が11区分となっている。主に増加している区分については、「軽油」、「A重油」、「一般廃棄物の焼却」となっている。

「軽油」については、ごみ収集事業に係る使用量の増加。「A重油」については、ごみ焼却処理処理施設における施設修繕工事等に伴い焼却炉の立ち上げ回数が増加したことによる使用量の増加。「一般廃棄物の焼却」については、もやせるごみの搬入量の増加が主な要因となっている。

表 3-1) 組合全体の活動量（基準年度及び目標値との対比）

区 分		単 位	基準年度 (平成28年度)	令和4年度 (実績)	基準年度 対比(%)	目標値 (令和4年度)	目標値 対比(%)
ガソリン		L	2,595.60	1,797.27	69.2	2,569.63	69.9
灯油		L	9,477.00	1,313.00	13.9	9,382.23	14.0
軽油		L	121,630.10	121,953.60	100.3	120,852.22	100.9
A重油		L	46,697.00	46,299.00	99.1	46,230.03	100.1
LPガス		kg	546.21	411.95	75.4	540.73	76.2
電気の使用		kWh	5,931,951.00	5,684,127.50	95.8	5,872,631.49	96.8
家庭用機器における 燃料の使用	灯油	L	9,477.00	1,313.00	13.9	9,477.00	13.9
	LPガス	kg	546.21	411.95	75.4	546.21	75.4
自動車の走行		km	487,042.00	439,904.00	90.3	487,042.00	90.3
一般廃棄物の焼却 (内、廃プラの焼却)		t	40,247.13 (6,922.18)	40,749.93 (4,155.26)	101.2 (60.0)	40,116.00 (6,899.62)	101.6 60.2
し尿の処理		kL	16,125.26	12,347.96	76.6	15,563.00	79.3
自動車用エアコンディショナーの使用		台	47	44	93.6	47	93.6

(2)部門ごとの活動量

各部門の活動量の特徴は次のとおりとなっている。

	増加内容	減少内容
①総務部門		「ガソリン」、「自動車の走行」： 走行距離が減少したことに伴う減少。 「灯油」： 空調設備の更新に伴い、使用エネルギーが灯油から電気に変わったことによる減少。 「LPガス」： 施設用ガス給湯器の使用を制限したことに伴う減少。
②し尿収集部門		「軽油」、「自動車の走行」： し尿収集件数及び収集量の減少に伴う減少。
③し尿処理部門	「ガソリン」： 施設使用分（草刈り機）の増加。 「軽油」： 施設使用分（非常用発電機）の増加。	「電気の使用」： し尿処理量の減少に応じた施設運転管理に伴う減少。
④ごみ収集部門	「軽油」： ごみステーション数の増加に伴う収集作業の増加。新型コロナウイルス感染症予防対策のため各車両で休憩をとるようにしたことに伴うアイドリングの増加。	
⑤ごみ焼却処理部門	「A重油」： 施設修繕工事等に伴い焼却炉の立ち上げ回数が増加したことに伴う増加。	「電気の使用」： 電動機の更新に伴う減少。 「一般廃棄物の焼却」： 廃プラ焼却量の減少。
⑥粗大ごみ処理部門 (粗大ごみ処理施設)		「A重油」： 蒸気の過剰吹込み抑制に伴う減少
(最終処分場)	「軽油」： 4 t ダンプ、重機稼働の増加。 「自動車の走行」： 原の内最終処分場等点検業務の増加	
⑦RC部門		「電気の使用」： 不要な照明の消灯及び空調機器の省エネ運転に伴う減少。 効率的な処理運転に伴う減少。

4. 取組状況について

令和4年度における各部門の取組状況は次のとおりとなっている。

(1) 取組の定着状況

- ①：部門内で日常的な取組として定着している。
- ②：取組の努力は行っているが定着していない。
- ③：取組の必要性はあるが、行っていない。
- ④：当部門に当てはまらない。

取組の定着状況	総務	し尿 収集	し尿 処理	ごみ 収集	ごみ 焼却	粗大 ごみ	R C
(1) 燃料使用量の削減							
①施設運転管理							
・効率的な施設運転等により燃料使用量の削減に努める。	④	④	①	④	①	①	①
・機器の効率低下を抑えるため、日常、月例、年次による保守点検を実施する。	④	④	①	④	①	①	①
・燃料の使用について、日報及び月報等の帳票による管理を行う。	④	④	①	④	①	①	①
②焼却炉・ボイラー等の管理							
・計画的な炉の運転により燃焼効率の向上を図る。	④	④	④	④	①	④	④
・自動燃焼制御システム等により炉の燃焼状態を適切に管理する。	④	④	④	④	①	④	④
・配管系統の蒸気漏れ、保温状態等を管理し効率低下を防止する。	④	④	④	④	④	③	④
③給湯設備の使用							
・給湯設備設定温度の適正化に努める。	①	①	①	④	①	①	①
④冷暖房機器の使用							
・機器の適正な温度設定により灯油の使用量を抑制する。	④	①	④	④	①	①	④
・エアコンのつけっ放しなど、不必要な機器の使用を抑える。	①	①	①	④	①	①	①
⑤重機の使用							
・アイドリングストップの実施に努める。	④	④	①	④	④	①	①
⑥し尿収集車及びごみ収集車の管理							
・効率的な収集計画及び運搬経路を検討し、軽油の使用量を抑制する。	④	①	④	①	④	④	④
(2) 電気使用量の削減							
①機器の保守点検、電気使用量の管理							
・機器の効率低下を抑えるため、日常、月例、年次による保守点検を実施する。	④	④	①	④	①	①	①
・電気の使用量について、日報及び月報等の帳票による管理を行う。	①	④	①	④	①	①	①
②電気設備等の管理							
・電動機の回転数制御装置等の積極的導入を図り、省電力化に努める。	④	④	①	④	①	③	①
③空調機器の運転及び適正温度の管理							
・空調機器の運転時は、適正な温度管理に努める。	①	①	①	④	①	①	①
・空調機器の点検補修、フィルター等の定期的な清掃に努める。	①	①	①	④	①	②	①
・空調機器使用時における出入口等の開放を禁止する。	①	①	①	①	①	①	①
・夏季及び冬季の服装について、ノーネクタイ等季節に応じた服装を工夫する。	①	①	④	①	④	④	④
④照明設備の管理							
・不要な照明は消灯します。	①	①	①	①	①	①	①
・昼休み時間の消灯を徹底します。(業務に支障を来す場合を除く)	①	①	①	①	①	①	①
・照明設備の更新の際は、LED照明等の省エネルギー型の機器を採用します。	①	④	①	④	①	①	③

取組の定着状況	総務	し尿 収集	し尿 処理	ごみ 収集	ごみ 焼却	粗大 ごみ	R C
⑤電化製品の管理							
・パソコン、コピー機等のOA機器の設定を省エネモードに設定するとともに、OA機器等を使用しないときは主電源オフを徹底する。	①	①	①	①	①	②	①
・余分な資料を作らないなど不要なコピー機の使用を抑える。	①	①	①	①	①	①	①
・機器類の更新等については、省エネルギー型の製品を導入する。	①	①	①	①	①	①	③
・電気ポット、冷蔵庫、洗濯機等の家電製品の台数や規模の適正化に努める。	①	①	①	①	①	①	①
⑥その他							
・エレベーターの利用は極力控え、積極的に階段を利用する。	④	④	④	④	①	④	①
(3) 公用車・収集車等の適正使用							
・出張時には、公共交通機関を活用する。	①	①	①	①	①	①	④
・公用車、収集車等の適正な整備及び適正な運転により燃費の向上に努める。	①	①	①	①	①	①	①
・公用車、収集車等の更新の際は、低燃費車及び低公害車を導入する。	①	①	①	①	①	①	④
・アイドリングストップに努める。	①	①	①	①	①	①	①
・し尿収集車及びごみ収集車の積載重量を遵守し燃費の向上に努める。	④	①	④	①	④	④	④
・急発進、急加速はしないなどエコドライブに努める。	①	①	①	①	①	①	①
(4) HFC-134a封入カーエアコンの適正使用							
・カーエアコンの設定温度の適正化に努める。	①	①	①	①	①	①	①
(5) 一般廃棄物焼却量の削減							
・一般廃棄物搬入量の減量及びプラスチック類の分別推進を図るため、組合市町（東根市・村山市・天童市・河北町）と協力し、ごみの分別及びリサイクル等についての広報活動を行い、ごみの減量化について、排出者への啓発・情報提供に努める。	①	④	④	①	④	④	④
(6) し尿処理施設の運転管理の効率化							
・適正な希釈制御等により下水道投入基準値を遵守するとともに、施設の効率的な運転管理に努める。	④	④	①	④	④	④	④
(7) その他の取組							
・施設内で発生する、空き缶、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装類等は、所定の場所に分別して回収する。	①	①	①	①	①	①	①
・廃棄書類のリサイクルに努める。	①	①	①	①	①	②	①
・両面コピーを徹底する。	①	①	①	①	①	①	①
・電子メールやシェアソフト等の活用により紙使用の削減に努める。	①	①	①	①	①	①	①
・水使用量の削減のため、節水の徹底に努める。	①	①	①	①	①	①	①
・組合敷地及び施設周辺の緑化に努める。	①	④	①	④	④	①	①
・施設の新築、増改築をするときは、環境に配慮した工事を実施するとともに、環境負荷の低減に配慮した施設等を整備し、適切な管理に努める。	④	④	④	④	④	④	④

(2) 個別の取組と効果

	個別の取組	効果
① 総務部門	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡車は平均燃費の良い車両を優先し使用する。 ・夏季における給湯室の瞬間湯沸器の使用を原則禁止する。 ・1年を通じ施設用ガス給湯器の使用を原則禁止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「LP ガス」が基準年度対比 35.86kg (59.2%) 削減となった。
② し尿収集部門	<ul style="list-style-type: none"> ・PRチラシの作成などエコドライブの啓発に取り組んでいる。 	平均燃費 基準年度 4.52km/L(BDF 含む) R 4年度 5.05km/L
③ し尿処理部門	<ul style="list-style-type: none"> ・照明、空調設備、ファン等の管理徹底により省エネに努める。 ・し尿処理量の減少に応じ、週末の設備稼働を極力抑えるなど省エネ運転に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「電気の使用」が基準年度対比 204,150kWh(25.3%)削減となった。
④ ごみ収集部門	<ul style="list-style-type: none"> ・走行距離短縮のため収集経路を見直し燃料使用量の削減に努める。 	
⑤ ごみ焼却処理部門	<ul style="list-style-type: none"> ・炉立ち上げ時の温度管理徹底によりA重油使用量の削減に努める。 ・使用しない箇所の消灯に努める。 ・エアコンの省エネ運転に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「電気の使用」が基準年度対比 61,423.50Wh(1.4%)削減となった。
⑥ 粗大ごみ処理部門	<ul style="list-style-type: none"> ・現場照明は、清掃及び点検時のみ使用し、安全が確保できる範囲内で消灯に努める。 ・現場換気設備管理として施設運転時以外は停止するように努める。 ・トイレ及び通路の照明をLED(人感センサー付き)化した。 ・受入コンベヤや排風機に高効率電動機を導入した。 	
⑦ RC部門	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩間及び処理運転等を実施していない作業所の消灯に努める。 ・エアコンの省エネ運転に努める。 ・給湯器用エコキュートの使用を原則禁止にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「電気の使用」が基準年度対比 21,678kWh(8.0%)削減となった。

○個別の取組としては、照明の節電を実施している部門が多く見られ、各部門とも工夫し省エネを図っている。今後も適正処理や安全に留意し、新たな取組を検討し、取組を継続していくことが重要である。

(3) 課題等

総務部門	・事務所内での取組みが周知徹底されていない。特に人事異動等により新たに事務所に配属された職員(業務課職員を含む)に対する啓発が不足している。
し尿収集部門	・実際の取組の把握が難しい。 (し尿収集作業中もエンジンを稼働させておく必要があるため)
し尿処理部門	・電気設備について、老朽化等により漏電が懸念される。
ごみ収集部門	・ごみステーション数の増加による収集効率の低下に伴い燃費が悪化していることから、軽油使用量の増加が見込まれる。
ごみ焼却処理部門	・24時間稼働施設のため省エネ運転を行う設備が限られてくる。
粗大ごみ処理部門	・搬入量にばらつきがあるため効率的な運転管理が難しい。
R C 部門	・搬入量にばらつきがあるため効率的な運転管理が難しい。

○施設や設備が原因による問題点については、更新費用などの経費的なこともあり、短期的に解決には至らないものが多く、長期的な展望に立ち検討を行い取組んでいく必要がある。

5. 総 括

第1次計画の最終年度である令和4年度における温室効果ガス排出量は、基準年度と比較し34.8% (8,232.42t-CO₂) 減少、目標値から34.6% (8,130.94 t-CO₂) 減少し目標値を達成している。目標達成の要因としては、「一般廃棄物の焼却」における廃プラの焼却が、基準年度から40.0% (7,664.37t-CO₂)、目標値から39.7% (7,601.87t-CO₂) 減少したことによるものである。これは一般廃棄物中の廃プラ含有率が、基準年度の31.46%に対して令和4年度では22.93%と低く推移したことによるものである。

また、一般廃棄物の焼却による排出量を除いた場合においても、基準年度と比較し15.3% (576.56 t-CO₂) 減少、削減目標値から14.4% (512.8t-CO₂) 減少し目標を達成していることから、組合の事務事業における地球温暖化対策への取組が一定の成果を上げたものと言える。

令和5年度からは、「第2次東根市外二市一町共立衛生処理組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」がスタートしており、削減目標の達成に向け、これまで以上に、全職員が日々の業務の中で省エネを意識し、新たな取組を積み重ね、着実に継続していくことが重要である。

資 料 編

令和4年度 部門ごとの温室効果ガス排出量

【組合合計】

単位：t-CO₂

区 分		基準年度	令和4(2022)年度	基準年度	目標値		
		平成28(2016)年度		対比(%)	令和4(2022)年度	対比(%)	
エネルギー起源		3,769.77	3,194.22	84.7	3,733.09	85.6	
	ガソリン	6.02	4.17	69.3	5.94	70.2	
	灯油	23.60	3.27	13.9	23.35	14.0	
	軽油	313.80	314.65	100.3	311.77	100.9	
	A重油	126.55	125.47	99.1	125.28	100.2	
	LPガス	1.64	1.23	75.0	1.59	77.4	
	電気の使用	3,298.16	2,745.43	83.2	3,265.16	84.1	
非エネルギー起源		19,862.08	12,205.21	61.4	19,797.28	61.7	
	家庭用機器における燃料の使用(灯油)	0.14	0.01	7.1	0.14	7.1	
	家庭用機器における燃料の使用(LPG)	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0	
自動車の走行	ガソリン	ハイブリッド車	0.01	0.00	0.0	0.01	0.0
		普通自動車	0.05	0.06	120.0	0.05	120.0
	軽油	軽貨物	0.01	0.01	100.0	0.01	100.0
		普通貨物	0.02	0.02	100.0	0.02	100.0
		普通特殊用途	3.50	3.20	91.4	3.50	91.4
一般廃棄物の焼却(全量)		19,855.44	12,199.58	61.4	19,790.72	61.6	
内、廃プラの焼却		19,174.44	11,510.07	60.0	19,111.94	60.2	
し尿の処理		2.24	1.71	76.3	2.16	79.2	
自動車用エアコンディショナーの使用		0.67	0.62	92.5	0.67	92.5	
合 計		23,631.85	15,399.43	65.2	23,530.37	65.4	

【総務部門】

区 分		基準年度	令和4(2022)年度	基準年度	目標値	
		平成28(2016)年度		対比(%)	令和4(2022)年度	対比(%)
エネルギー起源		68.69	43.58	63.4	67.99	64.1
	ガソリン	3.76	2.14	56.9	3.72	57.5
	灯油	16.90	0.00	0.0	16.73	0.0
	LPガス	0.18	0.07	38.9	0.17	41.2
	電気の使用	47.85	41.37	86.5	47.37	87.3
非エネルギー起源		0.15	0.04	26.7	0.15	26.7
	家庭用機器における燃料の使用(灯油)	0.10	0.00	0.0	0.10	0.0
	家庭用機器における燃料の使用(LPG)	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
	自動車の走行(ガソリン ハイブリッド車)	0.01	0.00	0.0	0.01	0.0
	自動車用エアコンディショナーの使用	0.04	0.04	100.0	0.04	100.0
合 計		68.84	43.62	63.4	68.14	64.0

【し尿収集部門】

区 分		基準年度	令和4(2022)年度	基準年度	目標値	
		平成28(2016)年度		対比(%)	令和4(2022)年度	対比(%)
エネルギー起源		83.06	70.22	84.5	82.55	85.1
	灯油	1.52	0.00	0.0	1.50	0.0
	軽油	81.54	70.22	86.1	81.05	86.6
非エネルギー起源		1.55	1.23	79.4	1.55	79.4
	家庭用機器における燃料の使用(灯油)	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
	自動車の走行(軽油 普通特殊用途)	1.34	1.06	79.1	1.34	79.1
	自動車用エアコンディショナーの使用	0.21	0.17	81.0	0.21	81.0
合 計		84.61	71.45	84.4	84.10	85.0

【し尿処理部門】

区 分		基準年度	令和4(2022)年度	基準年度	目標値	
		平成28(2016)年度		対比(%)	令和4(2022)年度	対比(%)
エネルギー起源		451.19	293.91	65.1	446.66	65.8
	ガソリン	0.00	0.05	皆増	0.00	皆増
	軽油	1.52	2.02	132.9	1.50	134.7
	LPガス	1.25	0.90	72.0	1.23	73.2
	電気の使用	448.42	290.94	64.9	443.93	65.5
非エネルギー起源		2.27	1.75	77.1	2.19	79.9
	家庭用機器における燃料の使用(LPG)	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
	自動車の走行(軽油 普通貨物)	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
	し尿の処理	2.24	1.71	76.3	2.16	79.2
	自動車用エアコンディショナーの使用	0.03	0.04	133.3	0.03	133.3
合 計		453.46	295.66	65.2	448.85	65.9

【ごみ収集部門】

区 分	基準年度 平成28(2016)年度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源	201.25	215.28	107.0	200.04	107.6
軽油	201.25	215.28	107.0	200.04	107.6
非エネルギー起源	2.35	2.33	99.1	2.35	99.1
自動車の走行(軽油 普通特殊用途)	2.16	2.14	99.1	2.16	99.1
自動車用エアコンディショナーの使用	0.19	0.19	100.0	0.19	100.0
合 計	203.60	217.61	106.9	202.39	107.5

【ごみ焼却処理部門】

区 分	基準年度 平成28(2016)年度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源	2,591.01	2,240.64	86.5	2,565.07	87.4
ガソリン	0.00	0.02	皆増	0.00	皆増
灯油	3.18	1.40	44.0	3.14	44.6
軽油	2.36	2.17	91.9	2.33	93.1
A重油	98.66	106.35	107.8	97.67	108.9
LPガス	0.19	0.23	121.1	0.18	127.8
電気の使用	2,486.62	2,130.47	85.7	2,461.75	86.5
非エネルギー起源	19,855.50	12,199.61	61.4	19,790.78	61.6
家庭用機器における燃料の使用(灯油)	0.02	0.00	0.0	0.02	0.0
家庭用機器における燃料の使用(LPG)	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
自動車の走行(軽油 普通貨物)	0.01	0.00	0.0	0.01	0.0
一般廃棄物の焼却	19,855.44	12,199.58	61.4	19,790.72	61.6
内、廃プラの焼却	19,174.44	11,510.07	60.0	19,111.94	60.2
自動車用エアコンディショナーの使用	0.03	0.03	100.0	0.03	100.0
合 計	22,446.51	14,440.25	64.3	22,355.85	64.6

【粗大ごみ処理部門】

区 分	基準年度 平成28(2016)年度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源	212.80	201.56	94.7	210.65	95.7
ガソリン	2.19	1.94	88.6	2.16	89.8
灯油	2.00	1.87	93.5	1.98	94.4
軽油	16.95	17.11	100.9	16.78	102.0
A重油	27.89	19.12	68.6	27.61	69.3
LPガス	0.02	0.03	150.0	0.01	300.0
電気の使用	163.75	161.49	98.6	162.11	99.6
非エネルギー起源	0.21	0.20	95.2	0.21	95.2
家庭用機器における燃料の使用(灯油)	0.02	0.01	50.0	0.02	50.0
家庭用機器における燃料の使用(LPG)	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
自動車の走行					
ガソリン 普通自動車	0.05	0.06	120.0	0.05	120.0
ガソリン 軽貨物	0.01	0.01	100.0	0.01	100.0
軽油 普通貨物	0.00	0.01	皆増	0.00	皆増
軽油 普通特殊用途	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0
自動車用エアコンディショナーの使用	0.13	0.11	84.6	0.13	84.6
合 計	213.01	201.76	94.7	210.86	95.7

【リサイクルセンター部門】

区 分	基準年度 平成28(2016)年度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源	161.77	129.03	79.8	160.13	80.6
ガソリン	0.07	0.02	28.6	0.06	33.3
軽油	10.18	7.85	77.1	10.07	78.0
電気の使用	151.52	121.16	80.0	150.00	80.8
非エネルギー起源	0.05	0.05	100.0	0.05	100.0
自動車の走行(軽油 普通貨物)	0.01	0.01	100.0	0.01	100.0
自動車用エアコンディショナーの使用	0.04	0.04	100.0	0.04	100.0
合 計	161.82	129.08	79.8	160.23	80.6

令和4年度 部門ごとの活動量

【組合合計】

区 分	単位	基準年度 平成28(2016)年 度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)		
エネルギー起源								
ガソリン	L	2,595.60	1,797.27	69.2	2,569.64	69.9		
灯油	L	9,477.00	1,313.00	13.9	9,382.23	14.0		
軽油	L	121,630.10	121,953.60	100.3	120,852.24	100.9		
A重油	L	46,697.00	46,299.00	99.1	46,230.03	100.1		
LPガス	kg	546.21	411.95	75.4	540.71	76.2		
電気の使用	kWh	5,931,951.00	5,684,127.50	95.8	5,872,631.49	96.8		
非エネルギー起源								
家庭用機器における燃料の使用(灯油)	L	9,477.00	1,313.00	13.9	9,477.00	13.9		
家庭用機器における燃料の使用(LPG)	kg	546.21	411.95	75.4	546.21	75.4		
自動車の走行	ガソリン	ハイブリッド車	km	25,340.00	14,152.00	55.8	25,340.00	55.8
		普通自動車	km	5,878.00	7,236.00	123.1	5,878.00	123.1
	軽油	軽貨物	km	1,737.00	1,654.00	95.2	1,737.00	95.2
		普通特殊用途	km	4,502.00	4,224.00	93.8	4,502.00	93.8
一般廃棄物の焼却	t	40,247.13	40,749.93	101.2	40,116.00	101.6		
内、廃プラの焼却	t	6,922.18	4,155.26	60.0	6,899.62	60.2		
し尿の処理	kL	16,125.26	12,347.96	76.6	15,563.00	79.3		
自動車用エアコンデ ^レ ィションの使用	台	47	44	93.6	47.00	93.6		

【総務部門】

区 分	単位	基準年度 平成28(2016)年 度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源						
ガソリン	L	1,620.40	922.37	56.9	1,604.19	57.5
灯油	L	6,788.00	0.00	0.0	6,720.12	0.0
LPガス	kg	60.56	24.70	40.8	59.94	41.2
電気の使用	kWh	86,060.00	85,660.00	99.5	85,199.40	100.5
非エネルギー起源						
家庭用機器における燃料の使用(灯油)	L	6,788.00	0.00	0.0	6,788.00	0.0
家庭用機器における燃料の使用(LPG)	kg	60.56	24.70	40.8	60.56	40.8
自動車の走行(ガソリン ハイブリッド車)	km	25,340.00	14,152.00	55.8	25,340.00	55.8
自動車用エアコンデ ^レ ィションの使用	台	3	3	100.0	3.00	100.0

【し尿収集部門】

区 分	単位	基準年度 平成28(2016)年 度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源						
灯油	L	608.00	0.00	0.0	601.92	0.0
軽油	L	31,605.00	27,218.00	86.1	31,415.37	86.6
非エネルギー起源						
家庭用機器における燃料の使用(灯油)	L	608.00	0.00	0.0	608.00	0.0
自動車の走行(軽油 普通特殊用途)	km	172,134.00	137,464.00	79.9	172,134.00	79.9
自動車用エアコンデ ^レ ィションの使用	台	15	12	80.0	15.00	80.0

【し尿処理部門】

区 分	単位	基準年度 平成28(2016)年 度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源						
ガソリン	L	0.00	20.00	皆増	0.00	皆増
軽油	L	591.00	781.60	132.3	585.09	133.6
LPガス	kg	416.33	300.00	72.1	412.17	72.8
電気の使用	kWh	806,520.00	602,370.00	74.7	798,454.80	75.4
非エネルギー起源						
家庭用機器における燃料の使用(LPG)	kg	416.33	300.00	72.1	416.33	72.1
自動車の走行(軽油 普通貨物)	km	787.00	842.00	107.0	787.00	107.0
し尿の処理	kL	16,125.26	12,347.96	76.6	15,563.00	79.3
自動車用エアコンデ ^レ ィションの使用	台	2	3	150.0	2.00	150.0

【ごみ収集部門】

区 分	単位	基準年度 平成28(2016)年 度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源						
軽油	L	78,005.00	83,443.00	107.0	77,536.97	107.6
非エネルギー起源						
自動車の走行（軽油 普通特殊用途）	km	277,288.00	274,684.00	99.1	277,288.00	99.1
自動車用エアコンデ ^イ ショナーの使用	台	13	13	100.0	13.00	100.0

【ごみ焼却処理部門】

区 分	単位	基準年度 平成28(2016)年 度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源						
ガソリン	L	0.00	9.50	皆増	0.00	皆増
灯油	L	1,276.00	562.00	44.0	1,263.24	44.5
軽油	L	914.70	840.00	91.8	905.55	92.8
A重油	L	36,404.00	39,242.00	107.8	36,039.96	108.9
LPガス	kg	61.95	75.90	122.5	61.31	123.8
電気の使用	kWh	4,472,330.00	4,410,906.50	98.6	4,427,606.70	99.6
非エネルギー起源						
家庭用機器における燃料の使用(灯油)	L	1,276.00	562.00	44.0	1,276.00	44.0
家庭用機器における燃料の使用(LPG)	kg	61.95	75.90	122.5	61.95	122.5
自動車の走行（軽油 普通貨物）	km	1,100.00	1,049.00	95.4	1,100.00	95.4
一般廃棄物の焼却	t	40,247.13	40,749.93	101.2	40,116.00	101.6
内、廃プラの焼却	t	6,922.18	4,155.26	60.0	6,899.62	60.2
自動車用エアコンデ ^イ ショナーの使用	台	2	2	100.0	2.00	100.0

【粗大ごみ処理部門】

区 分	単位	基準年度 平成28(2016)年 度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)		
エネルギー起源								
ガソリン	L	943.20	835.40	88.6	933.77	89.5		
灯油	L	805.00	751.00	93.3	796.95	94.2		
軽油	L	6,570.10	6,630.00	100.9	6,504.40	101.9		
A重油	L	10,293.00	7,057.00	68.6	10,190.07	69.3		
LPガス	kg	7.37	11.35	154.0	7.29	155.7		
電気の使用	kWh	294,518.00	334,346.00	113.5	291,572.82	114.7		
非エネルギー起源								
家庭用機器における燃料の使用(灯油)	L	805.00	751.00	93.3	805.00	93.3		
家庭用機器における燃料の使用(LPG)	m ³	7.37	11.35	154.0	7.37	154.0		
自動車の走行	ガソリン	普通自動車	km	5,878.00	7,236.00	123.1	5,878.00	123.1
		軽貨物	km	1,737.00	1,654.00	95.2	1,737.00	95.2
	軽油	普通貨物	km	1,116.00	1,156.00	103.6	1,116.00	103.6
		普通特殊用途	km	163.00	90.00	55.2	163.00	55.2
自動車用エアコンデ ^イ ショナーの使用	台	9	8	88.9	9.00	88.9		

【リサイクルセンター部門】

区 分	単位	基準年度 平成28(2016)年 度	令和4(2022)年度	基準年度 対比(%)	目標値 令和4(2022)年度	目標値 対比(%)
エネルギー起源						
ガソリン	L	32.00	10.00	31.3	31.68	31.6
軽油	L	3,944.30	3,041.00	77.1	3,904.86	77.9
電気の使用	kWh	272,523.00	250,845.00	92.0	269,797.77	93.0
非エネルギー起源						
自動車の走行（軽油 普通貨物）	km	1,499.00	1,177.00	78.5	1,499.00	78.5
自動車用エアコンデ ^イ ショナーの使用	台	3	3	100.0	3.00	100.0

部門ごとの削減目標及び目標値

目標年度：令和4年度（2022年度）

【組合合計】

区 分	削減目標	排出量目標値 t-CO ₂	(参考) 活動量目標値			
エネルギー起源	1%以上削減	当初	3,695.15			
		変更	3,733.09			
		ガソリン	5.94	2,569.63	L	
		灯油	23.35	9,382.23	L	
		軽油	273.83	106,147.88	L	
		A重油	311.77	120,852.22	L	
		LPガス	125.28	46,230.03	L	
		電気の使用	1.59	540.75	kg	
		3,265.16	5,872,631.49	kWh		
非エネルギー起源	効率的な運転管理を実施	当初	19,797.19			
		変更	19,797.28			
		家庭用機器における燃料の使用(灯油)	0.14	9,477.00	L	
		家庭用機器における燃料の使用(LPG)	0.00	546.21	kg	
		自動車の走行	ガソリン ハイブリッド車	0.01	25,340.00	km
			普通自動車	0.05	5,878.00	km
			軽貨物	0.01	1,737.00	km
			普通貨物	0.02	4,502.00	km
		自動車用エアコンディショナーの使用	当初	3.41	438,016.00	km
			変更	3.50	449,585.00	km
		一般廃棄物の焼却	0.32%以上削減	19,790.72	40,116.00	t
内、廃プラの焼却		19,111.94	6,899.62	t		
し尿の処理	3.5%以上削減	2.16	15,563.00	kL		
自動車用エアコンディショナーの使用	効率的な運転管理を実施	0.67	47.00	台		
合計		当初	23,492.34			
		変更	23,530.37			

【総務部門】

区 分	削減目標	排出量目標値 t-CO ₂	(参考) 活動量目標値		
エネルギー起源	1%以上削減		67.99		
		ガソリン	3.72	1,604.19	L
		灯油	16.73	6,720.12	L
		LPガス	0.17	59.96	kg
		電気の使用	47.37	85,199.40	kWh
非エネルギー起源	効率的な運転管理を実施		0.15		
		家庭用機器における燃料の使用(灯油)	0.10	6,788.00	L
		家庭用機器における燃料の使用(LPG)	0.00	60.56	kg
		自動車の走行(ガソリン ハイブリッド車)	0.01	25,340.00	km
		自動車用エアコンディショナーの使用	0.04	3.00	台
合計			68.14		

【し尿収集部門】

区 分	削減目標	排出量目標値 t-CO ₂	(参考) 活動量目標値		
エネルギー起源	1%以上削減	当初	51.52		
		変更	82.55		
		灯油	1.50	601.92	L
		軽油	50.02	19,389.15	L
		81.05	31,415.37	L	
非エネルギー起源	効率的な運転管理を実施		1.55		
		家庭用機器における燃料の使用(灯油)	0.00	608.00	L
		自動車の走行(軽油 普通特殊用途)	1.34	172,134.00	km
		自動車用エアコンディショナーの使用	0.21	15.00	台
合計		当初	53.07		
		変更	84.10		

【し尿処理部門】

区 分	削減目標	排出量目標値 t-CO ₂	(参考) 活動量目標値	
エネルギー起源		446.66		
ガソリン	1%以上削減	0.00	0.00	L
軽油		1.50	585.09	L
LPガス		1.23	412.17	kg
電気の使用		443.93	798,454.80	kWh
非エネルギー起源			2.19	
家庭用機器における燃料の使用(LPG)	効率的な運転管理を実施	0.00	416.33	kg
自動車の走行(軽油 普通貨物)		0.00	787.00	km
し尿の処理	3.5%以上削減	2.16	15,563.00	kL
自動車用エアコンディショナーの使用	効率的な運転管理を実施	0.03	2.00	台
合計		448.85		

【ごみ収集部門】

区 分	削減目標	排出量目標値 t-CO ₂	(参考) 活動量目標値	
エネルギー起源		当初 193.13 変更 200.04		
軽油	1%以上削減	当初 193.13	74,858.85	L
		変更 200.04	77,536.97	L
非エネルギー起源		当初 2.26 変更 2.35		
自動車の走行(軽油 普通特殊用途)	効率的な運転管理を実施	当初 2.07	265,719.00	km
自動車用エアコンディショナーの使用		変更 2.16	277,288.00	km
		0.19	13.00	台
合計		当初 195.39 変更 202.39		

【ごみ焼却処理部門】

区 分	削減目標	排出量目標値 t-CO ₂	(参考) 活動量目標値	
エネルギー起源		2,565.07		
灯油	1%以上削減	3.14	1,263.24	L
軽油		2.33	905.55	L
A重油		97.67	36,039.96	L
LPガス		0.18	61.33	kg
電気の使用		2,461.75	4,427,606.70	kWh
非エネルギー起源			19,790.78	
家庭用機器における燃料の使用(灯油)	効率的な運転管理を実施	0.02	1,276.00	L
家庭用機器における燃料の使用(LPG)		0.00	61.95	kg
自動車の走行(軽油 普通貨物)	0.32%以上削減	0.01	1,100.00	km
一般廃棄物の焼却		19,790.72	40,116.00	t
内、廃プラの焼却		19,111.94	6,899.62	t
自動車用エアコンディショナーの使用	効率的な運転管理を実施	0.03	2.00	台
合計		22,355.85		

【粗大ごみ処理部門】

区 分	削減目標	排出量目標値 t-CO ₂	(参考) 活動量目標値		
エネルギー起源		210.65			
ガソリン	1%以上削減	2.16	933.76	L	
灯油		1.98	796.95	L	
軽油		16.78	6,504.39	L	
A重油		27.61	10,190.07	L	
LPガス		0.01	7.29	kg	
電気の使用		162.11	291,572.82	kWh	
非エネルギー起源			0.21		
家庭用機器における燃料の使用(灯油)	効率的な運転管理を実施	0.02	805.00	L	
家庭用機器における燃料の使用(LPG)		0.00	7.37	kg	
自動車の走行		ガソリン 普通自動車	0.05	5,878.00	km
		軽貨物	0.01	1,737.00	km
		軽油 普通貨物	0.00	1,116.00	km
		軽油 普通特殊用途	0.00	163.00	km
自動車用エアコンディショナーの使用		0.13	9.00	台	
合計		210.86			

【リサイクルセンター部門】

区 分	削減目標	排出量目標値 t-CO ₂	(参考) 活動量目標値	
エネルギー起源		160.13		
ガソリン	1%以上削減	0.06	31.68	L
軽油		10.07	3,904.85	L
電気の使用		150.00	269,797.77	kWh
非エネルギー起源			0.05	
自動車の走行(軽油 普通貨物)	効率的な運転管理を実施	0.01	1,499.00	km
自動車用エアコンディショナーの使用		0.04	3.00	台
合計		160.18		

※ 令和2年度より、し尿収集部門の「軽油」及びごみ収集部門の「軽油」及び「自動車の走行」の排出量目標値を変更しています。